

NHK大河ドラマの舞台をめぐる小さな旅

—若き伊達政宗の仙道制覇の野望をたどる—

作成者

二本松市 田口さん

おすすめ月： 1年中いつでも良いが、特に4月～6月、9月～11月頃おすすめ

名称：粟ノ須の古戦場
移動時間
徒歩（分）
車（15分）
電車（分）
ジャンル：歴史（史跡）
市町村：二本松市

名称：小浜城跡
（途中西念寺の臥龍の松も）
移動時間
徒歩（分）
車（10分）
電車（分）
ジャンル：歴史（史跡）
市町村：二本松市（旧岩代町）

名称：万人子守地藏尊、日涉園、
移動時間
徒歩（分）
車（5分）
電車（分）
ジャンル：歴史（史跡）
市町村：二本松市（旧岩代町）

名称：宮森城跡
（城下の腹切り石、や御膳清水も）
移動時間
徒歩（分）
車（30分）
電車（分）
ジャンル：歴史（史跡）
市町村：二本松市（旧岩代町）

名称：人取橋古戦場
移動時間
徒歩（分）
車（30分）
電車（分）
ジャンル：歴史（史跡）
市町村：本宮市

時間があれば小手森城跡（旧東和）、二本松城、四本松城跡（旧岩代）を回るのもOptionとしてお勧めしたい。

ねらい、見どころ等

NHK大河ドラマの舞台となった伊達政宗の若き日の野望をたどる小さな旅

若き伊達政宗が仙道制覇の野望を持って、塩松地方（東安達）の攻略に乗り出し、大内定綱の居城である小浜城を攻め落した。

その後小浜城を拠点として、佐竹、芦名、白河、石川、二階堂、相馬らと人取り橋で戦い運よく勝利。

さらに父輝宗を宮森城で二本松城主畠山義継に拉致され、粟の巣で畠山義継ともども父を見殺しされた。

その当事の輝宗と政宗の家臣そして政宗自身の叫びとその時の心境に想いをはせたい。又輝宗が粟の巣まで拉致されたルートはどこだったのか？鷹狩りしていた政宗が粟の巣まで追いかけたルートはどこだったのか？そして政宗は輝宗の死に際に間に合ったのか？等を考えながら、『伊達政宗の路』を探してみるのも面白い。

その後、父の敵としての畠山の二本松城を二度に渡り攻めて落城させた。

若き日の伊達政宗がどんな想いでこの地で戦ったか、その野望に想いをはせながら周遊すると面白い。

NHKの大河ドラマで放映された場所に立って当時のドラマを検証してみたい。

全国版でもある伊達政宗が若き日には塩松地方や若松に居住していた事をこの地の“宝”として、更に磨き上げ、観光資源として見直したい。県北の“隠れた宝”でもある。郷土史としても地元小・中学生に教え伝えていかなければならない。

歴史に興味を持っている方、そして子供達への教育の場（遠足等の社会科学習）として活用願ひ、地元の人や子供達が自身と郷土に自身と誇りを持つ事が地域活性化の第一歩のはずです。

この史跡めぐりには以下のサイトを参考に事前に読んでいく事をお勧めしたい。

<http://minkara.carview.co.jp/userid/157690/blog/5485378/>

又山岡壮八の長編歴史小説『伊達政宗 一』を事前に読んでいくと、更にその時の様子が脳裏に浮かび、楽しさと興味が倍増する。この史跡を案内できるボランティア（岩代歴史研究会等）も検討していきたい。

小浜城址（下館）：伊達政宗が19歳の時に塩松地方の攻略に乗り出し、大内定綱の居城である小浜城を攻め落とした。その後約1年在城して、ここを拠点に領土を拡大していった。この間二本松城をも攻め落とした。現在も昔の石垣の一部が残り、公園にもなっている。

宮森城址（上館）：伊達輝宗の居城。二本松城主畠山義継が輝宗に和議を申し入れに訪れた際に、輝宗を拉致したところ。城下に照宗の御用水と伝えられている御前清水が今も湧いている。又城下の“腹きり石”にも注目したい。

西念寺の臥龍の松：輝宗の遺愛の松を政宗が寺に寄贈し、前庭に植えたと伝えられている。

と山門：山門は政宗が米沢に戻る際に小浜城門を西念寺に寄贈したと言われている。

日涉園：輝宗の遺愛の御花畠で、現在は公園になっており桜の名勝地としても知られている。宇都宮氏広が創園。
輝宗が拉致され粟の須へ連れ去られたルートはこの日涉園のあたりを通ったとも推定される

御前清水：宮森城の登り口にあり、輝宗の御用水であったと伝えられている。今も湧き出ている。隠れた名水でもある。

万人子守地蔵尊：輝宗の深い信仰を受けたとも言われる。子供の健やかな成長を願う地蔵尊。
子地蔵の数は海外を含め1万有余体。毎年5月3日～5日の大例祭に親地蔵の元に里帰りし祈禱を受ける。

粟の須古戦場：輝宗が宮森城で二本松城主畠山義継に拉致され、阿武隈川を渡る寸前に輝宗、義継ともども鉄砲に倒れた。
(いろいろな説あり) 政宗はこの時、はたして輝宗の死に際に間に合ったのであろうか？

人取り橋の合戦場：政宗が佐竹、芦名、白河らの兵3万を迎えて奮戦し連合軍は退いた。政宗の生涯最大の戦いが行われた場所。
政宗は小浜城から岩角城に移り、その後本宮城の観音堂に陣取って北上する敵軍を迎えた。
老臣鬼庭良直(73歳)も白河・佐竹の兵をむかえて奮戦した。

今回の周遊には載せていないが、時間と興味があれば回ってみるのも面白い。Optionとして以下も推薦したい。

二本松城：輝宗の初七日が済んだ日に政宗は二本松城を攻めたが大雪の為一旦兵を引き上げた。その後再度攻めて落城させた。
畠山家は滅亡した。

小手森城址：石橋氏が滅びた後は大内定綱の小浜城の支城となる。
政宗の大内定綱征伐地に最初に攻撃を受け、800余人が殺されたと伝えられている。

四本松城址(古館)：田原氏9代(150年間)石橋氏5代(90年間)の居城。その後大内定綱の小浜城の支城となった。